



Libero Canto

第6回

声楽名曲コンサート

Libero Canto の会

2013.11/3(日) 19:00

横浜かなつくホール



ご挨拶

本日は皆様ご多用のところ、私たちのコンサートにご来聴下さいまして、まことに有難うございます。皆様の御支援によってこのコンサートは会を重ねて第六回となりました。心より厚く御礼申し上げます。

出演の皆さんは普段は学校の音楽教師として、あるいは会社等に勤務しながらも声楽の魅力に惹かれて、たゆまない研鑽を積んで来ております。私の古くからの生徒さんである澤木輝美さんも昨年に続いて出演します。澤木さんはイタリアにおいてヴェルディ国際声楽コンクールで入賞を果たし、現在東京にてリリカイタリアーナのプリマとして数多くのオペラで主役を歌っています。

私は皆さんを指導しておりますが、「生涯一書生」をモットーとしておりますので今年も皆さんと一緒に出演できますことをとても嬉しく思っています。

本日のプログラムでは前半の後部にご要望のありました日本歌曲が続けて歌われます。

ご来場の皆様、どうぞ忌憚のないご高評と暖かいご声援をよろしくお願いいたします。最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

Libero Canto Japan 長谷川 敏 (二期会会員、茨城大学名誉教授)



Libero Canto について

20世紀半ば、ウィーンのラヨシュ・サモシ教授によって開発された歌唱法、教授法の中で、「自由なる歌唱」という意味です。そしてかつてこの歌唱はイタリアローマにて「我々が既に忘れてしまった正当的ベルカント唱法である」と評価されました。現在はエドウィン・サモシ教授がこれを継承してウィーン、ニューヨークを中心に活動し発展させています。Libero Canto Japanの長谷川は1973年より両教授の薫陶を受け、数少ない後継者の一人としてこの歌唱法の伝播と発展に努めています。

Libero Cantoでは先ず各人の持つ歌唱時の悪い癖を取り除きます。そしてごく自然に楽な息のエネルギーを流して歌っていきます。クラシックの声楽にありがちな、構える、支える、保持する、気張る、響きや声を狙うといったことをやりません。力づくでなく、軽く明るい喉のトレーニングをして、身体本来のもつ自由な働きを引き出すことによって、その人の本当の声のクオリティーと音楽とを正しく出していくものです。

この方法は自然であるがために、自分のものにするにはかなりの忍耐の期間が必要です。しかし熟達すれば優美で暖かく、音楽性に満ちた歌唱芸術が実現します。

Libero Canto Japan事務局

E-Mail b.i.z.en66@gmail.com

Tel 0466-29-1371